

笑顔いっぱい 阿村っ子



上天草市立阿村小学校
学校だより
第22号
R4.1.12(水)
文責 坂本和子



あけましておめでとうございます 今年もよろしくおねがいたします



毎年変わらない私の3学期準備は、下記の「日に新た」を自分の書き初めのつもりで広用紙に書くことです。毎年、お正月にこの「日に新た」を読むと、本当に晴れ晴れとした気持ちになり、今年も頑張るぞという気持ちが湧いてきます。この気持ちを子供たちにも知らせたい、味わってほしいという気持ちから、始業式にこれを読んで聞いてもらうことにしています。

1月11日(火)、子供たちを最初に迎えたのは、教室の黒板の担任の先生からのメッセージでした。どの教室(担任の先生)からも、子供たちと共に新しい年を迎えよう、頑張ろうという気持ちが伝わってきました。この「日に新た」は、私が新年に、阿村小の子供たち全員を迎えるメッセージです。

日に新た

心静かに年が明けて、心静かに新年の計を立てる。まずはめでたい新春の朝である。

ゆく年の疲れをいやしつつ、去りし日の喜びを

再びかみしめている人もあろうし、あるいは過ぎし日の憂き事に

しばしの感慨をおぼえている人もあろう。

人はさまざま。人のさだめもその歩みもまたさまざま。

さまざまなか、さまざまなか、さまざまなか、

そんななかでも大事なことは、今年も去年のままであつては

ならないということ、きょうは昨日のままであつては

ならないということ、そして明日はきょうのままであつては

ならないということである。

万物は日に新た。

人の営みもまた、天地とともに日に新たでなければならぬ。

憂き事の感慨はしばしにとどめ、去りし日の喜びは、

これをさらに大きな喜びに変えよう。立ち止まってはならない。

今日の営みの上に明日の工夫を、明日の工夫の上にあさつての新たな思いを。

そんな新鮮な心を持ちつづけたい。

そんな思いで、この日の朝を迎えたい。

松下幸之助「この日この朝」より

三学期も 笑顔いっぱい 知恵いっぱい 元気いっぱい



「日に新た」で、あと少しで卒業だから日々を大切にしていこうということではなく、毎日が新鮮で大切にしなければならないことを改めて考えることができました。昨日の自分をこえるために、どんなことが工夫できるか、進歩することができるかを考えて生活したいです。大きな目標ではなく、小さな目標の積み重ねだと思って目標を立て、達成感を味わいながら成長できたらいいなと思います。(6年 さん)



年が明けてからのコロナウィルスの再流行が心配されるため、始業式は、体育館で窓を開けて、そして短時間(閉式まで15分)で行いました。いつもだったら、もう少し説明の時間を取ったり、子供たちに感想を求めたりするところですが、仕方ありません。教室で感想交流等、してくれたようです。これからも、感染防止については油断はできません。今できる対策を、しっかり徹底させていこうと思います。早速11日から給食の配膳は職員が行うことにしました。

「粘り強くやり抜く子ども」「考え、行動する子ども」「思いに気付き、協働する子ども」

阿村地区 どんどや大会

1/8 準備

地域も、PTAも、小学生も中学生も、教職員も(小中) みんなで準備。大人も子供も竹を運びました。



小中学生も、ロープを引かせてもらいました。



大きいなあ。大人はずごい。



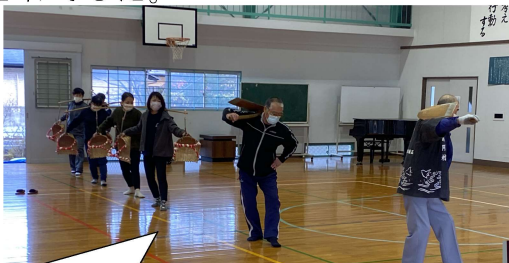
子供たちがおっけるけん、助かるなあ。

1/9 どんどや大会本番

前日に引き続きすばらしい晴天に恵まれました。堀江市長様、田中市議会議員様始め来賓の皆様をお迎えし、たくさんの地域の方の参加の下、どんどや大会が開会されました。

燃え上がる櫓を見守りながら煙を受け、今年1年の無病息災、五穀豊穡を祈りました。

感染防止対策としての受付(氏名記入・検温・消毒)と後片付けは消防団の方がしてくださいました。中学生も、消防団の方と共に、最後まで後片付けをしてくれました。本当にありがとうございました。阿村小は地域とともにある、と強く感じた1日でした。



今年は、感染防止のためぜんざいの振る舞いできませんでした。その時間を利用して、保存会のみなさんが体育館で「湯切り踊り」を披露してくださり、その後指導もしていただきました。大人の踊りを見せていただくことができ、本当によかったです。中学生も教えてくれました。



「どんどや」や「湯切り踊り」のような、地域の方と触れ合ったり教えていただいたりする活動を通して、子供たちは阿村のことやよさを知り、地域の方の思いに触れ、阿村を好きだという気持ちを大きくしながら、「ふるさとを愛する心」を育てていきます。

人力のみで高い櫓が組み上がる様は壮観です。子供たちは、地域の力に感心したり、役に立ったことを喜んだり。子供たちにとって、どんどやは準備から大きな学びがあります。



2年ぶりにどんどやができて嬉しいです。地域の皆様には登下校時等も見守ってもらい、おかげで楽しく元気に過ごせています。私たちも阿村を守り、協力して盛り上げていきたいです。
(児童代表 六年 さん)

